

わが国の街路樹 VIII

飯塚 康雄 *
舟久保 敏 **

The Roadside Trees of Japan VIII

Yasuo Iizuka
Satoshi Funakubo

概要

本資料は、平成 29 年 3 月 31 日現在供用されている道路に植栽されている樹木について、国土交通省各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、地方公共団体、高速道路会社に対し実施した調査結果を基に、樹木の本数、樹種、樹木タイプ別等に集計を行い、全国の街路樹の動向等をまとめたものである。

キーワード：街路樹、樹種、樹木タイプ、統計

Synopsis

This report is about the roadside trees of Japan as of 31 March 2017. The question item was a number and the species of the trees planted in the roadside. The questionnaire survey was conducted for the roads managed by Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, all prefectures, cities, towns and villages, a district road public corporation, and highway companies.

Key Words : Roadside trees, Tree species, Tree type, Statistics

* 緑化生態研究室主任研究官 Senior Resercher , Landscape and Ecology Division
** 緑化生態研究室長 Head , Landscape and Ecology Division

はじめに

本資料は、全国の道路緑化の現況を把握して道路緑化事業の基礎資料とするために、道路緑化樹木の本数や樹種を調査して集計を行ったものです。

この調査は、「道路緑化樹木現況調査」として昭和 57 年から 5 年毎にこれまで計 7 回（全国規模で中低木を含めた調査としては昭和 62 年からの計 6 回）行っており、今回の調査が 8 回目として高木（街路樹）と中低木に分けての植栽本数と樹種の現況及び推移を把握することを目的としています。また、平成 20 年からは「国連気候変動枠組条約第 3 回締約国会議」で採択された「京都議定書」第 3 条第 4 項の対象となる「植生回復」活動に街路樹植栽等の都市緑化が位置づけられたことから、街路樹等の樹木による CO₂ 吸収量を気候変動枠組み条約事務局に対して報告するための算出根拠として活用しています。

「1. 道路緑化樹木現況調査」では、全国の道路管理者を対象に道路緑化樹木現況調査（平成 28 年度末時点）を実施し、「国土交通省、都道府県、市町村、地方道路公社が管理する道路」と「高速道路会社が管理する道路」について、道路緑化樹木の合計本数、樹種別の本数、樹木タイプ（落葉広葉樹・常緑広葉樹など）別の本数を集計し、その現況を概観しました。

「2. 道路緑化樹木の推移」では、これまでに実施した 7 回の調査（昭和 63 年、平成 4 年、平成 9 年、平成 14 年、平成 19 年、平成 24 年、平成 29 年）の結果を用いて、全国の道路緑化樹木の合計本数や樹種別本数を比較し、道路緑化樹木の推移について考察を行いました。

道路緑化の目的は、緑陰や良好な景観の形成、生活環境と自然環境の保全、交通安全、防災など多岐に渡ります。そして、上述のとおり地球温暖化問題が深刻となっている現在では、道路緑化樹木にも都市域の CO₂ の吸収源としての役割が期待されています。

本資料が、道路緑化推進の基礎資料として多くの方に利用されることを願っています。

最後になりましたが、本資料を作成するに当たり、資料の提供および調査へのご協力を頂きました国土交通省道路局と各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、全国の都道府県、市町村、地方道路公社、そして東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社の方々に厚くお礼申し上げます。